

## 「がん集学的治療に強い病院」医療雑誌で紹介されました。

放射線科 小川 佐智男

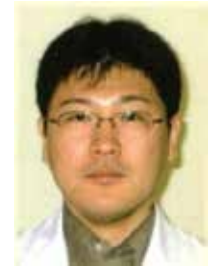
当院は、患者向け医療雑誌「病院の実力～夫婦で考える病気」(平成27年11月読売新聞本社発行)に「がん集学治療に強い病院」として特集掲載されました。多くの職員が地道に行ってきた、草の根の努力が認められ、第三者機関より一定の評価を頂いたこととなります。特集記事内では、他の診療科と連携し、がんと闘う実力病院と銘打って、外科の丹野院長と放射線科の目時科長が紹介されています。

これまで、日本のがん治療は「外科手術」が主流で、ほかの治療は補助的治療として位置付けられてきました。十和田市では先駆けて「集学的治療」に取り組んでまいりました。この治療は一つの方法にこだわることなく、様々な治療法(手術・薬剤・放射線・緩和)を組み合わせ、相乗効果を引き出すことが特徴。すなわち、単に治すだけでなく「健康寿命」を延ばすことができます。

十和田市の主産業は農業・畜産業。サラリーマンのような定年制は当てはまりません。健康な間は働きたいという希望を持つ市民がほとんどです。「健康寿命」を伸ばすことは、市にうるおいを与え、産業が活性化することを意味します。市民が遠くまで足を運ぶことなく、市内で「がん治療」が完結できること。それが十和田市立中央病院の職員一同の願いです。



外科  
丹野院長



放射線科  
目時科長



高精度放射線治療装置 「トモセラピー」